

ご近所のみなさん、こんにちは。

こちらは日本共産党〇〇支部(後援会)です。ただいまから、この場所をお借りして、日本共産党の政策の訴えをさせていただきます。しばらくのご協力をよろしくお願いします。みなさん

自民党の新総裁選びがマスコミをにぎわせたそのさなかに、政府税制調査会の会長は、”談話”を発表し、「二〇〇九年度から消費税を増税する」といいました。しかし今、みなさんのくらしむきはどうか。小泉前首相の「構造改革」で、定率減税の廃止、医療・介護・年金のあいづぐ負担増、弱者きりすてがすすめられ、お年よりの住民税が一〇倍になるなど、くらしは大変になっています。私たちのところにも、「この先のくらしが不安」との声がたくさんよせられています。このうえ、消費税が二ケタに上げられたら、なんと国民1人あたり一〇万円の新たな増税になってしまいます。とんでもないことです。

日本共産党は、政府に対して、「高齢者負担増の中止を求める申し入れ」を行い、地域では「増税やめよ」の署名のご協力をお願いします。ご一緒に、「増税ノー」の声をあげようではありませんか。

みなさん

新しく選ばれた自民党の安部晋三新総裁は、「消費税引き上げ」といっています。この問題では、民主党も「福祉財源は消費税で」という立場です。

この背景に、財界の強い要求があるのです。この間、日本経団連は「できるだけ早く消費税を段階的に一〇％に引き上げる」よう、催促しています。

しかしみなさん、ご存じでしょうか。実は、消費税導入から、庶民には大増税がおしつけられてきましたが、財界・大企業には、バブルのときより大もうけをあげているにもかかわらず、法人税の「減税」がくりかえされ、税収が半分にまで落ち込む原因になっています。財界は、消費税の増税とあわせて法人税のいっそうの減税を要求し、企業の社会保険料負担をいっさいなくすことまで求めています。こんな不公平な税制でいいのか。財政がきびしいというなら、まず、ここにこそメスをいれるべきです。

日本共産党は、税金のむだ遣いをやめ、大企業に「もうけ」にふさわしい、応分の負担を求めます。軍事費や公共事業のムダをなくし、大企業にふさわしく負担をもとめれば、安心できる医療、介護、年金のしくみをつくる道がひらけます。

日本共産党は、この立場で、庶民大増税をくいとめるために引き続き全力をあげます。国政では、くらし福祉対策責任者のあやべ澄子が先頭にたつてがんばります。〇〇(市町村)では、△△が「増税ノー」の声を届けます。日本共産党が発行する「しんぶん赤旗」は、地域で、全国津々浦々で、「これ以上の増税は、やめてほしい」と行動する人々の姿を報道し、くらしを励ますとご好評頂いています。ぜひお読み下さるようお願いし、この場所からの訴えをおわらせていただきます。ありがとうございました。

以上